

きたがわ たくみ ■北川拓実さん たきざき こうき 滝崎航基さん もりた けいすけ 森田啓介さん 精道中学校2年生 数学・理科甲子園ジュニア2016 兵庫県大会 優勝



左から 滝崎さん・北川さん・森田さん

昨年8月に開催された、数学・理科甲子園ジュニア兵庫県大会で、精道中学校チームが優勝。12月には、2位の白陵中学校との合同チームで、全国大会に出場。持てる力を発揮し、16位の結果を残しました。この大会は数学と理科に関する問題を、チームで協力して解き、得点を競う競技です。学校での参加者募集に手を挙げた3人。北川さん「単純におもしろそう。」森田さん「昨年から、出てみたいと思っていた。」滝崎さん「テレビで見ていたので、どれくらいできるのか試したい。」それぞれの思いを胸に立候補。ほとんど面識のない3人でしたが、大会に向け演習を重ねるうちに、互いの事を知り、チームワークも良くなり、素晴らしい結果を残すことができました。全国大会の感想は、滝崎さん「全国の頭のいい人と競い合えてよかった。また競い合ってみて。」北川さん「全国大会では交流会もあり、

人のつながりを増やすこともできました。この経験をこれから活かしたいです。」森田さん「貴重な経験ができてよかった。高校生の数学・理科大会の出場も目指したいです。」と3人ともポジティブな思いを語ってくれました。



全国大会の様子

ワンダフル！中学生

さまざまなジャンル(分野)で頑張っているワンダフルな(素晴らしい)芦屋の中学生。
輝くすてきな笑顔を見せる皆さんを紹介します。

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006

やすだ ゆたか ■安田穰さん 山手中学校2年生
第68回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会 3位



「英語は、世界の人たちと意見交流ができる大切な言語なので、頑張って勉強しています。」

昨年11月に開催された、第68回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会で、3位の成績を残した、山手中学校2年生の安田穰さん。予選大会から合わせると参加者数が10万人になるこの大会は、英語で自分の意見や主張を、5分間のスピーチで表現し、その内容・表現力・発音などが審査されます。

安田さんは先生の勧めで、この大会への参加を決意。昨年、市の中学生海外派遣事業へ参加した時の体験をまとめ、原稿を作成。自分のスピーチを録音しては聞きなおす練習を繰り返し、どう表現すれば内容が伝わるのか試行錯誤を重ねました。大会本番の予選では、緊張で頭が真っ白になりながらも決勝進出。決勝では吹っ切れ、しっかり内容が伝わるように精一杯スピーチしました。

今年の夏には、この大会で3位以内に入った生徒達と、イギリスへの短期留学が控えています。「英語を活かして多くの人と交流し、イギリスの文化を感じたいです。この留学では、約20カ国の人たちが参加すると聞いているので、その人たちとも意見交流がしたい。」と期待を募らせていました。



スピーチの様子

ぬくい りさ ■抜井理紗さん 精道中学校3年生
第48回全日本オプティミスト級セーリング選手権大会 1位



セーリング(ヨット)のオプティミスト級(通称OP)は、ヨットの種類で一番小さい船体で速さを競う競技です。

「広い海の上を自由に行きたいところに行ける解放感がセーリングの魅力です。風にセイル(帆)を合わせるの難しいけれど、うまく合わせられるとスピードに乗ってとても気持ちいいです。」と話す、精道中学校3年生の抜井理紗さん。小学5年生からOPのナショナルチームの一員として、小学6年生でアジア大会、中学1年生でヨーロッパ大会、中学2・3年生で世界大会に出場しました。昨年11月に開催された全日本大会では優勝し、日本一の選手になりました。

セーリングをしている両親の影響で、初めてヨットに乗ったのは3歳の時、競技として始めたのは小学2年生。日の長い夏は1日8時間も練習し、冬の寒さにも負けず、練習を重ねてきました。

一番嬉しかったことは、「全日本大会で優勝したことです。OPに出場できる最後の年だったので、自分の走りができ、支えてくれた人たちに伝えることができ、本当に嬉しかった。」と笑顔で話してくれました。



© adamo aono